



きゅうしょくだより



令和4年 1月 あおぞら保園

明けましておめでとうございます。お正月には、お雑煮やおせち料理など、召し上がりましたか？1月は、「天も地も人々もゆったりとなごみ、仲睦まじく過ごす月（＝睦月）」といわれています。家族で新年を迎えられた喜びを分かち合い、新たな気持ちで1年をスタートしましょう。今月の献立には、お正月料理の紅白なます、7日には七草粥を取り入れています。

給食室一同、子どもたちに喜んでもらえるような給食作りをめざして頑張ります！今年も宜しくお願い致します。



『おせちに込められた願いごと！』

祝い稀三種 田作り（豊年豊作） 黒豆（方便ににまめに） 数の子（子孫繁栄）
伊達巻 鬼すだれで蒔き巻物に見立て、読み書きができるようにと願いが込められています。れんこん たくさんの穴が開いていることから先が見える、見通しの良いことを表しています。きんとん 『金団』と書き財宝の意味を表しています。鯛 『めでたい』に通じる語呂合わせ。よくお祝いごとに登場しますね。このほかにおせち一つ一つにも意味があります。地域によって詰めるものはそれぞれなのです。



『1月11日 鏡開き』



鏡開きは、お供えしていた鏡もちを下げ、木づちなどをでたたきわって食べる行事です。

鏡『開き』と言われるのは『切る』という言葉や刃物は、おめでたい時には縁起が悪いという考え方があったため、運を『開く』という意味を込めて鏡『開き』としたようです。